

作成例コ（法第28条第1項）

平成23年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人コラボしろい

## I、事業の成果

### 概要・特記事項報告

今年度の特記事項から記述し、その次に特定非営利事業項目ごとの活動状況を記述します。

#### (1) 白井市団体活動助成金事業

今年度は、白井市団体活動助成金23年度～25年度に行政・自治会・NPOの三者協働関係構築に基礎づくり活動として、

「地域の独居高齢者日常生活支援事業」を提案し、採択され協働の基礎づくりが出来たと考えております。この事業は、地域住民の有償ボランティアによる支援活動の提供を開始しました。順次白井市全域に拡大していく計画です。

全体では3か年計画で今年度（初年度）をスタートさせました「これから、定着すること」と言うのが現状です。

(2) 千葉県「地域支え合い助成金」に応募、して、対象が、白井市の単独行政体となると単独の要綱を制定実施となることから。要綱制定を待ちながら着手が10月中旬を過ぎ、単年度限りの予算実行期間が少なくなり、用地として公共用地入手難から空き家を賃貸することに変更、今後の地域支え合い活動に必要な事務所什器の整備に絞り調達した。拠点スペースは、借家で補助事業対象とせず、自主経費で支払います。

① 単年度補助事業で域支え合い行動時間が少なくなる一方「白井市地域福祉計画策定」に参加して「福祉有償運送事業」の緊急整備の要望が強いことから計画変更を申し出て福祉有償運送事業をスタートさせました。

② 「家庭介護の実践講座」を9か所の集会施設を巡回して実施した。（参加者からもっと早く「知っていれば良かったのに」と多くの反応が寄せられました。

③ 今回の県の補助事業のお蔭で利益金が手元にある訳ではありませんが、「財産目録（資本金の額）を200万円台」に載せることを達成し今後の活躍の礎ができたと喜んでおります。

④ 今後これら経験と資産を地域のニーズに活かすことが重要と考えております。

(3) 千葉県発注：事業受託者NPO法人COCOT実施の「コミュニティープランニングコーディネータ育成講座」へ公法人から4名の理事が第1回9月26日～第7回12月7日（この間に被災地現場のボランティアセンターや近隣市の市民活動

支援センターへ分散派遣してイベントや災害時ボランティア受け入れ実習を含めて、体験者から直に見聞・体験を行う機会を得て全員千葉県知事名で「平成23年度ボランティアコーディネーター養成講座終了証書」授与することができました。今後発生が近いと言われる首都直下地震へ備えるとともに3.11長期的視野に立ちダメージを受けたコミュニティ再生を目指すコーディネーション共感者・支援者を説得し引き込むことのできる力量とネットワークを持つプロモーションができることを目指し日常的に蓄積しておくべき基本を身に着けたと自負しております。良い仲間感謝したい。

(2) 自主事業「福祉サービス第三者評価機関としての下記2件の受託を消化し、認証機関更新を行いました。加えて、新たに「地域密着型外部評価機関に選定」を受け評価機関としてグループホームなどの評価対象の幅が広がりました。

①八千代市立福祉作業所三施設の評価事業をまた、②佐倉市私立の認可保育園(完全英語教育制)の受託が実現して合計4施設の評価を完了しました。

当法人として第三者評価機関認証を取得して3年の満期を目前にしての待望の受注が実り、初の実績であり合わせて4件の受注実績は今後弾みをつけたと考えます。

また、NPO改定NPO法の定める、「活動計算書」を採用して報告した。

## 2. 各事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 千円
(1) まちづくりのための研究会の企画及び運営	①白井市まちづくり ②新たな公共とは、市民自治を深める。 情報収集会議傍聴	23年8月	白井市保健福祉センター	1名	財)地域活性化センターのイベントに参加してまちづくりに関する情報を取得	1
(2) コミュニティービジネス振興のための研究会の企画及び運営	前年12月～1月の間に白井市・しろいCB研究会と情報交換を重ねております。	23年4月～ 24年3月	市民活動推進センター	2名	CBに関心のある者	0
(3) 福祉の評価事業並びに高齢者の自立支援事業	(1) 第三者評価機関認証取得後初めて5件の実績を上げました。冒頭に特記している。	23年10月～ 24年1月	市民活動推進センター	5名	(3) 白井市	8,660
(4) 地域情報の発信・提供	前年度開設したHPのコンテンツ更新を継続している。	23年10月 11月	法人事務所	1名	不特定多数	レンタル ¥1,815 D/Ad
(5) NPOに対する支援事業	準備体制作り	—	活動推進C	1名		0
(6) 他団体との交流事業	印西市指定管理者 市民活動推進センター指定管理団体と交流	21年7月		3名		0

(7)インキュベーション事業	今年度は、案件発掘・研究。					体制準備	0
(8)北総地域における指定管理者受託事業並びに同事業に関連する一切の事業	白井市 印西市指定管理者募集要綱を研究した	23年10月	市民活動 推進C	7名		交渉先 ①印西市	0
白井市市民活動団体助成金 ①「独居高齢者の日常生活支援事業」	採択補助金額¥247,000のうち確定額¥27,000を得て要望25件172ポイントの要請に応じた。PR不足を感じる。			会員10名、ボランティア35名			自己負担金 55,000
冒頭23年度の特徴に記述しております。独居高齢者等の日常生活支援事業(有償ボランティア方式) 「地域支え合い助成事業」を原資白井市補助金事業を受けた。	千葉県23年度地域支え合い助成金で当法人の今後の活動の基盤が整いました。「新しい公共を担う基礎が整備」できたと感謝しております。						
地域支え合い事業のうち (活動拠点整備事業)	用地難から借家を借りる変更。 借料自弁し、補助金は事務所全額設備購入費にした。					活動拠点の仕器が整備完了	1000千円
地域支え合い事業のうち (福祉有償運送体制整備)	① 地域支え合い事業 (福祉有償運送事業切り替えへ実施)			110名		有償運送体制整備 運転提供者養成 関係法令諸手続き完了	100% 補助金
地域支え合い事業のうち (介護に担い手養成等)	② 護の担い手養成事業家庭介護での即実効性の得られる実技に絞って市内9所の集会施設を巡回開催した			6～16名		家庭介護者の担い手養成、離職介護職の職場復帰	

### 主な会議・行事等開催記録

番号	年月日	開催場所運営	団体運営会議	評価事業	市補助事業	県補助事業	印刷作業等
1	23年4月27日	大山口二丁目住宅管理	単体総会	基本方針	基本方針	全体計画検討	資料印刷
2	5月14日	市民活動推進センター		評価調査票	研修計画サポータ	素案検討会議	調査票印刷
3	8月24日	駅前公民館		#1, 2, 3 つばさ関係	原案検討		調査票印刷
4	7月22日	市民活動推進センター	協議	つばさ関係報告書	現地町家結果		調査票印刷
5	7月28日	市民活動推進センター		つばさ関係報告書	現地町家結果		調査票印刷

		—			果		
6	8月8日	大山口二丁目管理組合		つばさ関係報告書	報告書仕上がり案		調査票印刷
7	8月25日	市民活動推進センター		つばさ関係報告書	検討		調査票印刷
8	9月1日	市民活動推進センター	協議	つばさ関係報告書	協議		調査票印刷
10	9月2日	市民活動推進センター		レイクサイド保育園			調査票印刷
11	9月18日	駅前公民館		レイクサイド保育園			調査票印刷
12	9月20日・26日	推進センター		レイクサイド保育園		変更案	報告書印刷
13	10月3日	推進センター		レイクサイド保育園		有償	報告書印刷
13	10月20日	推進センター		レイクサイド保育園		介護実技講座 打合せ	報告書印刷
14	10月25日	推進センター		レイクサイド保育園			
15	10月28日	推進センター		レイクサイド保育園			アンケート集計
16	10月29日	推進センター		レイクサイド保育園			アンケート集計
17	11月1日	推進センター		レイクサイド保育			製本作業
18	11月5日	推進センター	協議	レイクサイド保育			製本作業
19	11月9日	推進センター		レイクサイド保育			
20	11月11日	推進センター		レイクサイド保育			
21	12月2日	市民活動まつり参加		レイクサイド保育		有償運送研修計画	
21	11月25日	推進センター		レイクサイド保育			
23	24年1月20日	推進センター	補助事業に集中	レイクサイド保育			WAMNETへUP
24	有償運転者講習会(2日間研修)	大山口集会所	補助事業に集中			1月10, 11日講習会開催	
	24年2月1日～	大松活動拠点	補助事業に集中			連絡局登録手続き	
	2月上旬	〃	補助事業に集中				
	2月中旬		補助事業に集中				
	2月下旬		補助事業に集中				
	3月上旬		補助事業に集中				
	3月中旬						
	3月下旬	補助事業 年度末作業	補助事業物品調達			3月中実施	